

精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

区分別科目



(A) 抗けいれん剤の臨時の投与
病態に応じた抗けいれん剤の投与の判断基準
(ペーパーシミュレーションを含む) (2)

松戸市立総合医療センター 小児科

小橋孝介 氏

小児におけるけいれん ペーパーシミュレーション

小橋 孝介
松戸市立総合医療センター小児科

症例1：1歳1か月男児

現病歴：昼頃からだるそうにしていた。15時頃
昼寝中にけいれんし救急要請。救急隊の情報で
はけいれんは続いている。

バイタルサイン：
体温39.8℃、脈拍172、SpO₂100%(酸素6L)

Q:来院までに準備すべき物品を
考えてみましょう

※薬物以外の物品も含めて考えてください

病院到着：
けいれんは続いている。
眼球上転、口唇チアノーゼ、四肢強直

先週保育園で体重10kgとの情報

Q:静脈路の確保が困難です。

- ①どのような薬剤を
- ②どのような経路で
投与しますか？

Q:以下について体重10kgとして
何mLの薬液を投与するか計算
してみましょう

- ①ミダゾラム 筋注 0.3-0.5mg/kg
- ②ミダゾラム 頬粘膜 0.3-0.5mg/kg
- ③ミダゾラム 鼻腔内 0.2mg/kg
- ④ジアゼパム 注腸 0.3-0.5mg/kg

※ジアゼパム 1A=2mL 10mg
ミダゾラム 1A=2mL 10mg

症例2：2歳3か月男児

現病歴：けいれん重積後で一昨日入院。今朝から解熱していたが、10時頃けいれんしているとナースコールがあった。訪室すると間代けいれんを認めた。

Q:まずすべきことは
为什么呢？

バイタルサイン：
体温39.8℃、脈拍172、SpO₂100%(酸素6L)

入院時の体重15kg

Q:静脈路は確保されています。

- ①どのような薬剤を
- ②どのような容量で
投与しますか？

Q:以下について体重15kgとして
何mLの薬液を投与するか計算
してみましょう

①ジアゼパム

②ミダゾラム

※ジアゼパム 1A=2mL 10mg
ミダゾラム 1V=10mL 10mg

ミダゾラムの0.15mg/kg単回投与で発作消失し意識も回復したが、その後2時間の間に2回同様のけいれん発作が群発。毎回ミダゾラム0.15mg/kgで発作は消失した。

Q:けいれん群発にたいして.

①どのような薬剤を

②どのような容量で
投与しますか？